



子どもの歯を守ろう！

～6月4～10日は歯と口の健康週間です～



☎健康推進課 ☎22-1362

白石の子どもはむし歯が多い？

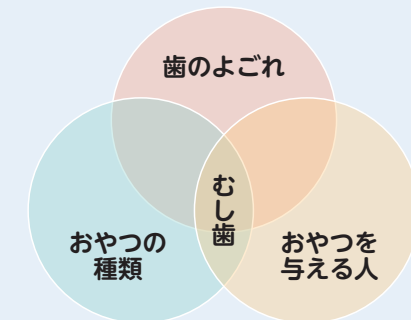
本市の3歳6カ月児健康診査では、かつて3人に1人以上はむし歯が見られ、宮城県の中でも特にむし歯の多い地域でした。

最近は10人に1人程度に減っていますが、全国的にむし歯が見られるお子さんは減っているため、国の平均を下回る状況です。（平成21年度のむし歯の保有率は36.6%でした）

むし歯を予防しよう

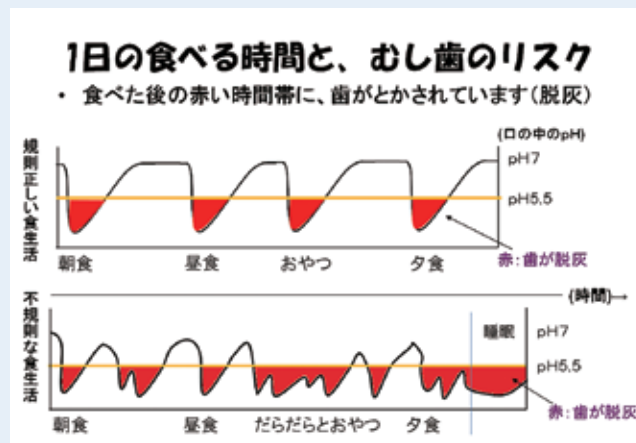
2歳6カ月・3歳6カ月児健診と～「お口の健康に関するアンケート」結果～

～データから見た白石の傾向～



本市のむし歯のリスク要因は、過去3年間の結果から「歯のよごれ」「おやつの種類」「おやつを与える人」だとわかりました。

また、おやつを与える人が、「兄や姉」または「祖父」と回答したお子さんに、むし歯が多くみられていました。



だらだらと食べることで歯がとかされる時間が長くなり、むし歯になりやすくなります。

～むし歯予防のポイント～

①おやつは時間と量を決めてとりましょう！

アンケートの結果から、「おやつ時間が決まっている」「おやつ量が決まっている」と回答したお子さんは、そうではないお子さんと比べてむし歯のリスクが低いという結果がみられました。

②フッ化物（フッ素）を活用しましょう！

フッ化物（フッ素）入りの歯磨き粉を使ったり、歯科医院で塗ってもらうことで、歯の質を強くし、むし歯になりにくくなります。安全性も確認されています。市内の一部保育園幼稚園では、フッ化物洗口を行っています。（希望者のみ）

③子どもも大人も歯科医院での定期歯科健診とフッ化物の定期的な塗布を受けましょう！

子どもの歯科受診は歯が生え始めたころ（6カ月～1歳6カ月ごろ）に初めての受診が目安です。むし歯などの問題がない場合でも3カ月～半年に1回のペースを目安に受診しましょう。



協力：東北大学大学院歯学研究科、東北大学東北メディカル・メガバンク機構

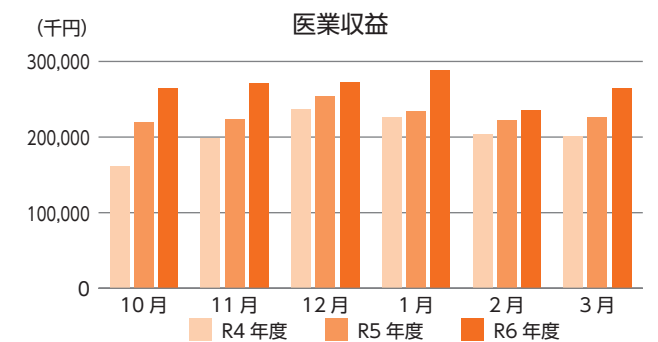
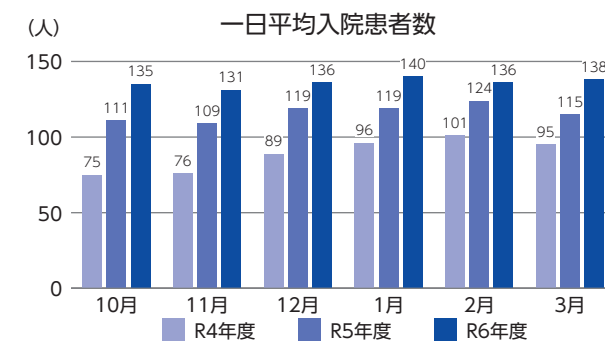
令和6年度下半期 公立刈田総合病院の運営状況

☎健康推進課（病院事業管理室） ☎22-1362

公立刈田総合病院の令和6年10月から令和7年3月までの半年間の運営状況についてお知らせします。

（1）患者数と医業収益

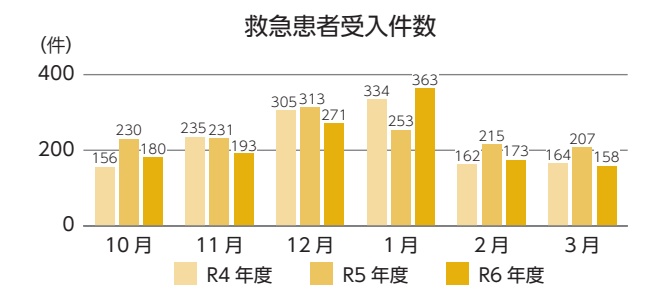
一日平均の入院患者数及び医業収益については、各月で前年度を上回っています。一日平均入院患者数では、特に1月で152床中、一日平均139.6床の病床が稼働しており、稼働率は91.8%となりました。



（2）救急患者受入件数

救急患者受入件数は、救急車で搬送のほか、休日・夜間等に緊急で受診した場合の総数となります。

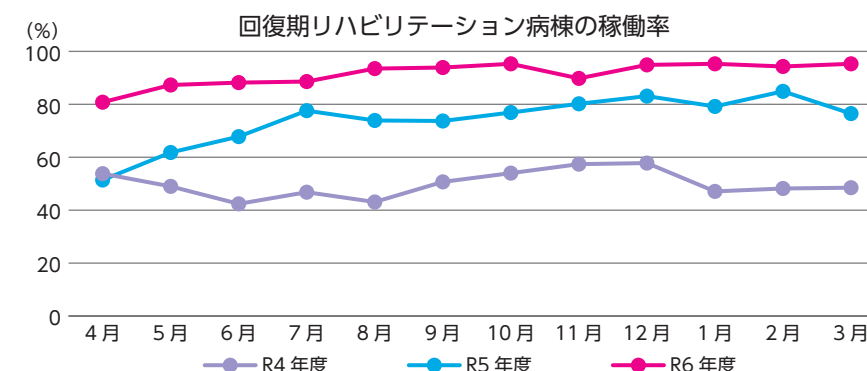
受入件数は、下半期平均で月225件となっています。



～回復期リハビリテーション病棟（6病棟）について～

公立刈田総合病院では、152床の病床が稼働しています。その中でも6病棟の51床は「回復期リハビリテーション病棟」として稼働しています。「回復期リハビリテーション病棟」は、疾患などの条件や入院期間が定められており、手術などの治療を終えた患者が集中的なリハビリテーションを行い、心身ともに回復した状態で元の生活に戻すことを目的とした病棟です。

指定管理者制度導入後、リハビリテーションを行う療法士は、16人から29人に増員され、仙南医療圏の回復期を担う病院として力を入れており、回復期リハビリテーション病棟の稼働率は向上しています。



▲6病棟の入り口

